

JSCA 千葉ニュース（春）

発行（社）日本建築構造技術者協会 JSCA千葉（広報委員会）
〒261-0004千葉県千葉市美浜区高洲3-20-38（株）齋藤建築設計事務所内 TEL 043-277-5005
FAX 043-277-0906

JSCA千葉新年会開催

ハンク・マサ&JSCA千葉バンド結成披露

去る2月9日（火）午後5時、JSCA千葉の新年会が三井ガーデンホテル千葉3Fで開催された。行政・友好団体から34名、千葉会員59名、協力会員26名と、記念講演がなかったにも関わらず盛況となった。



JSCA本部木原代表の祝辞

齋藤千葉代表は挨拶の中で、世界各地に多発する地震についてと、意匠設計事務所が耐震業務を受注して審

査が滞ることについて懸念を表明された。

木原本部代表は祝辞の中で確認業務の簡素化と構造設計の損害保険、その他の本部課題について話題とされた。

千葉県建築指導課色部剛史課長は庚虎（かのえとら）は新たな事が始まる年として告示改正について話され、構造業務の協力を呼びかけられた。

千葉市保全課阿部茂課長は建築文化の向上及び業務量の増大から行政への協力を要請する旨、話題とされた。

さて、JSCA千葉では今年度よりギター、ドラム、ボーカルによるバンドが結成され「ハンク・マサ&JSCA千葉バンド」としてお披露目ライブが開催され華を添えた。（安田）

【2面に関連記事】

JSCA千葉役員会議事録抜粋（佐藤）

役員会	技術委員会	市原 嗣久	プの実施について	験テーマの募集について	(1)代替タブの認定制度について(千葉県鉄骨工業会への協力依頼)
代表 齋藤美佐男		富島 誠司	第5回9月2日	第7回11月18日	(2)JSCA 若手向け勉強会の実施について
副代表 向後 勝弘		榊原 裕繁	(16:00~17:30)	(16:00~18:00)	第9回1月18日(H22)
園部 隆夫	HP委員会	園部 隆夫	出席:齋藤代表他13名	出席:齋藤代表他9名	(16:00~17:00)
総務委員会 向後 勝弘		加藤 義道	1. JSCA本部および関連他	1. JSCA本部および関連他	出席:齋藤代表他17名
園部 隆夫		佐藤 暢彦	団体についての報告	団体についての報告	1. JSCA本部および関連他
長内 光雄	監事	明智 孝夫	2. 検討事項	2. 検討事項	団体についての報告
佐藤 暢彦		向後 勝弘	(1)入札制度・耐震補強費用	(1)協力会員講習会の実施	2. 検討事項
西澤 博文		飯島 宏治	に対する千葉県への要望書	について	(1)JSCA千葉新年会について
会員委員会 明智 孝夫		真崎 雄一	の提出について	(2)船橋中央卸売市場見学会について	(2)JSCA 若手向け勉強会の実施について
齋藤 利彦	平成21年度			(3)千葉県産学連携建築連絡会議への協力について	(2)JSCA 若手向け勉強会の実施について
梶山 誠治	第4回7月30日			(4)千葉県建築学生賞への協力について	第10回2月9日
榊原 裕繁	(16:00~18:00)				(16:00~17:00)
筈谷 修作	出席:齋藤代表他17名		第6回10月14日	第8回12月18日	(新年会を兼ねる)
園部 隆夫	1. JSCA本部および関連他		(16:00~17:30)	(16:00~17:30)	出席:齋藤代表他20名
市原 嗣久	団体についての報告		出席:齋藤代表他15名	出席:齋藤代表他10名	
西原 忠	2. 検討事項		1. JSCA本部および関連他	1. JSCA本部および関連他	
竹下 章治	(1)協力会員各社との商品		団体についての報告	団体についての報告	
西澤 博文	説明会の実施について		3. 検討事項	2. 検討事項	
広報委員会 安田 良一	(2)耐震診断の業務費について		(1)親睦旅行について(休暇村館山)		
筈谷 修作	(3)適合性判定ワークショップ		(2)ポリテクカレッジより実		
加藤 義道					
富島 誠司					



竹下構造設計室 竹下 章治

2月9日（水）いまにも雨の降りそうな空模様の中、汗を拭き拭き三井ガーデンホテルに着き受付をして名札・式次第を受け取り、席表を見て自分の席を確認する、席は12卓に約10席の構成となっている、ざっと計算して120名以上、例年より20~30名多い出席者である。

式次第に目を落とすと、昨年同様今年もJSCA木原会長の出席が認められ、祝宴にはなじみのHank Masaの名があるがJSCA・千葉バンドとは？と考えながら会場に入るといつもに増して活気を感じて席に着く。

開始時刻の5時になったが役員が出入り口で心配そうな顔をしている、どうやら来賓の方が遅れているようである。しかし10分程度の遅れで向後副代表の司会で会が開始され、齋藤代表の挨拶が始まった。来賓への出席御礼と若手の参加報告の後いきなり社会情勢の話で“トヨタ車のリコール問題”、“ハイチ地震”、“コンクリートから人へ”ときて急に話が変わり『新年のご挨拶』となった、珍しく緊張しているようである。その後は順調に進み最後に耐震診断で忙しい構造設計者を慰労し、意匠設計者や診断業務経験不足者の耐震判定申請の増加があり質に対する危惧を述べて締めくくった。次に来賓祝辞に移り、JSCAの木原会長から今年の本部課題として①若手・中堅・ベテランの勉強会②構造設計者に再委託する時の約款作成③構造設計に特化した損害賠償等の話をされ、先に国交省から発表された確認申請簡素化に関する基準法改定については、その内容を見守っていくとの事でした。次に、県土整備部建築指導課課長色部剛史様、並びに千葉市都市局建築保全課課長阿部茂様より、建築行政に対する感謝のおことばを頂き今後の更なる協力要請がありました。その後、建築士会会長青柳英俊様の乾杯発声で祝宴へと移りました。

ステージのドラムやギターが気になるが、会場では料理に専念する人、ビールを片手に席を廻る人が見える中、例年と違い若い人が目立ち木原会長もその輪に入り話が弾んでいるようである。和気藹々と

会員委員会定期便

- ・ JSCA千葉2010年度総会の日程／平成22年6月3日（木）13：30～／場所：三井ガーデンホテル・記念講演「建築空間と構造（アーキテクリング・デザインを巡って）」日本大学理工学部建築学科 名誉教授 斉藤公男先生
- ・ 22年3月付けで、2社の協力会員が入会されましたのでお知らせいたします／（株）構造システム・坂井様（解析プログラム）／（株）鹿島技研・坂井様（建築・土木用資材販売）



JSCA千葉協力会員のみなさん

進む中、角藤の平瀬氏の司会で協力会員の紹介が行われました。JSCA・千葉の活動を色々な面で支えてくださる各会社の方には感謝に絶えません。

いよいよ、メインのHank Masa & JSCA・千葉バンドの登場です。園部副代表のドラム、佐藤委員のギターに真崎監事（ハンク・マサ）のボーカルの構成で3人での練習は4回だけとのこと、果たして大丈夫か、見ているほうがドキドキしてきました。観客の緊張が伝染したのかいきなり一曲目で躓いてしまいました、しかしこのアクシデントは会場の雰囲気や和ませたようでその後は素人バンドとしてはまずまずの出来でした。最後に園部副代表からバンドへの参加を呼びかけで終演。

閉会の辞は園部副代表の三本締めで無事新年の会を終了しました。幹事の方々、開催運営に協力された皆さんご苦労様でした。



デビューしたハンクマサ&JSCA千葉バンド

2 / 23 ・ 3 / 23 「若手向け構造設計研修会」が開催されました

（有）市原建築構造設計事務所 依田 実

去る平成22年2月23日（火）建築会館8階にてJSCA千葉若手向け構造設計勉強会（RC編）が開催されました。講師にはJSCA千葉の構造設計事務所である株式会社 向後構造設計事務所の秋山秀之氏、有限会社 市原建築構造設計事務所の市原嗣久氏に担当していただき、聴講生は行政庁関係約35名、構造設計事務所約30名の計約65名にて行われました。

講義第一部は秋山氏が担当し、RCの材料特性、許容応力度、断面算定、部材の破壊形式など初級者に分かりやすく、設計のみならず工事監理上のチェックポイントもお話しされました。上級者にも飽きさせない内容でした。

講義第二部は市原氏が担当し、既存RC構造物の耐震診断と耐震補強設計業務の大まかなポイント、進め方、心構えを説明され、また業務の苦労話も聞かせて頂きました。その他にE-Defenceによる鉄骨ブレースを組み込んだRC構造物の実大振動実験の動画も見せていただき大変勉強になりました。

最後に質疑応答を行い、講師陣と聴講生の活発な意見交換が行われ非常に今後の業務の参考となる内容でした。

勉強会終了後、若手有志にて懇親会が行われJSCA千葉の若手同士の親睦が深まり、お互いの技術向上、情報交換、人脈形成が図れたと思います。大変有意義な一日となりました。

最後に、故内藤多仲先生の耐震建築五訓より鉄骨鉄筋ビル【君知るや壊れたためしまだ聞かぬ鉄骨入りの鉄筋のビル】



2 / 23 熱気に包まれたRC編若手勉強会

（有）飯島建築構造事務所 木村将士

去る平成22年3月23日（火）、建築会館8階に於いてJSCA千葉若手向け構造設計研修会（S造編）が開催されました。

講師には（有）SPC設計の園部隆夫氏に担当していただき、聴講生には行政庁関係が約40名、構造設計事務所が約30名の計70名で行われました。短時間の間にS造の全てを網羅する事はかなり困難でしたため、ポイントを押さえつつの講義となりました。

構造設計者として図面を作図する事が何よりも一番重要であると教えていただきました。細部のディテールを最初に思い浮かべて設計を進めることで、構造物全体の設計につながるというものでした。

私は主に補強設計を担当しており新築設計を行う機会は少ないのですが、やはり重要なのは細部のディテールであり、まずはそこに着目すべきとお話でした。また溶接箇所の入熱管理など、監理業務における着目点もお話しいただきました。

さらに応力の伝達、各部材の材質など、構造設計における基本である構造力学の要素、その根本的な考え方がS造の設計の中に詰まっているという事を再認識出来ました。

屋内運動場等の鉄骨造の補強設計が多い現在、既存部材に如何にして補強部材を極端な応力集中を防いで設置するのか、改めて考えさせられる非常に有意義な講義となりました。

講義の後半は僅かな時間でしたがSRC造についても触れることができました。やはり重要なのは接合部などの細部のディテールということでした。さらに柱脚は埋め込み式の方が設計しやすいなど、園部氏の経験からくるノウハウの一部を教えていただきました。そしてSRC造はRC造とS造の組み合わせであるため、両構造の設計が満足にできない人には困難であるとお話でした。

残念ながら私にはまだSRC造を満足に設計できるほどの知識・経験が不足していますが、このような勉強会を経て少しでも多く実務に活かすように努力したいと考えております。また、構造設計事務所からの参加者は私よりももっと若手の皆さんもいます。彼等と今後も良き仲間として、時には好敵手としてお互い切磋琢磨していければと思っています。

マサコラム 17

地球と人類の相互作用

現在、宇宙的規模で進行中のビッグバンによる宇宙膨張は科学的には正統派の説として認識されている。しかし、その事と地球環境問題を結びつける議論は聴いた事はない。ところが宇宙膨張のサイクルと同様に地球そのものが現在、固い密度の濃い、高い状態から密度の低い、軽い状態に変化を起こしつつあるとの衝撃的な説がある。一般的には、密度の高い状態から低い状態へと変化させるには外部からエネルギーを投入する必要があります。我々が地中の鉄鉱石(酸化鉄)を地上に取り出し溶鉱炉で熔融するのと同様である。

「地球が現在、密度の低下を起こしつつあるとの事から、地下の鉱石がエネルギーを加えられマグマとなり、火山として噴出し、光を放ち、蒸気となり空気として消散する。移行の過程でバランスを取る必要から地震に代表される自然災害の頻度が増大する」

この説明では何を大げさな、衝撃的説でもなんでもないじゃないかとの声が聴こえそうです(^_^)☆

話はこれからです、我々の生活に響く地球環境問題の筆頭である「温暖化の要因が2酸化炭素の排出削減では的外れと言う事である。外部宇宙からの電磁波エネルギーの投入が要因」であるとなる。又、我々人類が地球環境で発生し進化した生物である以上、地球と人間はお互いにエネルギーをやり取りをする相互関係にある。つまり、地球の変化と人間の変化は同時進行である。従って、人間の人体構成そのものが固い密度の濃い、高い状態から密度低い、軽い状態に変化を起こしつつあるとの事である。又、固体からライトボディと変化するニューボディに移行する過程で人体と精神の両方に様々な症状が現われる由。変化に対応できない人は様々なストレスを抱えて原因不明の病気に陥ることになる。

我々の解決策は変化に対応する為に、常に精神のバランスを心掛け、ネガティブ思考を避け、ポジティブ思考を心がけ、周囲との人間関係においても極力、繋がりを保ち孤独に陥らない事が大切となる。そのことが、母なる地球にもストレスを与えず変化を穏やかに進める事にもなる。又、現代の子供はクリスタルチルドレンと呼ばれ、変化に耐える新しい価値観を持った人類として地球に生まれているとの事、頭の古い我々は子供達に教わろう(^_^)☆

真崎雄一

オープンしました



入門講座の開講

近所に「碁を教えて」という子供がいたので、四月より入門講座を開講しました。碁は老若男女や職種を隔てず、生涯楽しめる趣味となります。覚えてみませんか。(月謝4,000円)

導。囲碁格言や手筋、碁の本質は因果応報である事などを理解するまで、一年くらいかかりますが、ここまでくればどなたでも有段者になれます事、保証いたします・・・す。

営業時間	平日	10:00~21:00
	土日	13:00~21:00
入場料	一般	1,000円
	建築士	800円
	女性・学生	800円
	高校生以下	500円

毎週土曜日午前10:00~12:00 二ヶ月8回のレッスンで入門時を60級としますと終講時には20級程度になります。入門講座終了後は9級(初段にセイモク)の実力になるまで責任指



月極は10日分とします。なお平日は同伴であれば10:00から入場OK。また毎日17:00以後は500円です。室内は完全禁煙です。(喫煙はベランダで。)

千葉市稲毛区弥生町2-15西千葉浪花ビルTEL043-206-3430 (有)アルファ技研設計内 碁碁部「碁談」 (財)日本棋院・碁碁普及指導員 安田良一

編集後記 (2010.4.25)

年のせいか、時間がどんどん流れて行く気がする。普天間、子供手当、新党乱立、野菜の高騰などマスメディアに報道されても、列車の窓外の景色を見るような無力感がある今日この頃。地球のあちこちで地震や噴火が起こり、この分だと日本にもそろそろ大きいのが来そうだとは言わずもがな。まあそのときは、、、と今は思っていますが、碁と違って死に形を選べないのが本意である。

大きな酒場でポツンと飲んでいて、保存食を確保しているという人が案外多いという話が漏れ伝わる。運良く生存した場合、餓死がいやなのはどなたでも。楽天的に生存を前提として炭とバーベキューの鉄板と水を少々準備した。ガスや電気は4~5日止まる予測で。種子を買い占めておいて売って儲けるのは浅はかかしら。なに、碁碁部を碁碁農業部と改名して野菜を作ろうと発案したところ、いくらで売るともりかど部員の

きびしいつっこみに、あえなく廃案としたものだから。ただ少し問題があって、種子も考えている程、長保ちはしないらしい。ところで鳩山総理の言う5月未まで解決を引っ張る意味はなにか。世論の誘導期間であって場所は決まっていたの声をきき声あり。予定地周辺の土地の所有者達が誰か、と言う事は、、、海浜ではないはず。もし今日が最後の日だとして、言い残す事を問われれば「盤上に耳を澄ます」と答えたい。(安田)